

平成21年7月相模原市教育委員会臨時会

○日 時 平成21年7月10日（金曜日）午前10時00分から午前10時18分まで

○場 所 相模原市役所 教育委員会室

○日 程

1. 開 会

2. 会議録署名委員の決定

3. 議 事

日程第 1（議案第36号） 平成21年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算  
の補正について（教育局）

4. 閉 会

○出席委員（4名）

委 員 長 溝 口 碩 矩

委員長職務代理者 小 林 政 美

教 育 長 岡 本 実

委 員 金 川 純 子

○欠席委員（1名）

委 員 齋 藤 文

○説明のために出席した者

教 育 局 長 榎 田 達 雄 教育環境部長 三 沢 賢 一

学 校 教 育 部 長 小 宮 満 彦 生涯学習部長 大 貫 英 明

教 育 局 参 事 柿 沢 正 史 教育総務室長 田 中 雅 幸  
兼教育総務室長 担 当 課 長

教 育 局 参 事 稲 葉 茂 総合学習センター 小 西 正 英  
兼総合学習 担 当 課 長  
セ ン タ ー 所 長

学 務 課 長 須 藤 由 徳 学 務 課 主 査 天 野 幸 雄

学 校 施 設 課 長 井 上 喜 一 学 校 施 設 課 長 細 谷 浩  
担 当 課 長

学校教育部参事 佐藤 陽 一 学校教育課長 土肥 正 高  
兼学校教育課長 担当 課 長

生涯学習部参事 和田 隆 一 生涯学習課長 柿澤 光 明  
兼生涯学習課長 担当 課 長

○事務局職員出席者

教育総務室副主幹 杉山 吏 一 教育総務室主任 坂本 正 俊

---

□開 会

◎溝口委員長 ただいまから相模原市教育委員会 7 月臨時会を開会いたします。

本日の出席委員は 4 名で定足数に達しております。

なお、本日、斎藤委員より欠席の旨届出がありましたので、報告いたします。

本日の会議録署名委員に、金川委員と私、溝口を指名いたします。

なお、開会時におきます本日の傍聴人はございません。

---

□平成 21 年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正について

◎溝口委員長 それでは、議事日程に基づき、これより日程に入ります。

日程 1、議案第 36 号、平成 21 年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○三沢教育環境部長 議案第 36 号につきましてご説明申し上げます。

本議案は、平成 21 年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により相模原市長から意見を求められたため、これに同意いたしたく提案するものでございます。

平成 21 年度相模原市一般会計補正予算書及び予算に関する説明書の 3 ページをご覧くださいと存じます。

初めに、7 月補正予算の全体の概要でございますが、歳入歳出予算の総額 2,077 億 9,100 万円に、歳入歳出それぞれ 66 億 2,000 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 2,144 億 1,100 万円とするものでございます。

5 ページをご覧くださいと存じます。下段の款 50 教育費の補正ですが、12 億 7,250 万円の増額で、補正予算全体に占める割合は 19.2 パーセントでございます。

また、補正後の一般会計予算全体に占める教育費の割合は 10.7 パーセントとなり、当初から 0.3 ポイントの増加となります。

続きまして、教育委員会の所管にかかわる補正予算の主な内容につきまして、ご説明申し上げます。

46 ページをご覧くださいと存じます。上段の款 50 教育費、項 10 小学校費、目 5

学校管理費でございますが、説明欄 1 の小学校校舎等維持補修費につきましては、旧市域の北部方面小学校を対象に、地上デジタル放送を受信するためのアンテナ等の整備を行うとともに、津久井地域の小学校を対象に、地上デジタル放送の電波状況の調査を行うものでございます。

説明欄 2 の小学校教材等整備事業につきましては、新学習指導要領に対応した理科教育を推進するため、理科教育教具を整備するとともに、地上デジタル放送対応型のテレビを普通教室等に設置するものでございます。

説明欄 3 の学校情報教育推進事業につきましては、市立小学校の全校に校内 LAN の整備を行うものでございます。

1 から 3 のそれぞれの事業につきまして、特定財源として国庫支出金及び市債を見込むものでございます。

目 20 学校建設費でございますが、説明欄 1 の小学校校舎改造事業につきましては、旭小学校に太陽光発電設備を整備するもので、特定財源として国庫支出金及び市債を見込むものでございます。

下段の項 15 中学校費、目 5 学校管理費でございますが、小学校費と同様の経費を見込むものでございます。

目 20 学校建設費でございますが、説明欄 1 の中学校校舎改造事業につきましては、谷口中学校及び新町中学校に太陽光発電設備を整備するものでございます。

説明欄 2 の中学校校舎等整備事業につきましては、相模丘中学校に武道場の整備を行うもので、それぞれの事業につきまして、特定財源として国庫支出金及び市債を見込むものでございます。

**○大貫生涯学習部長** それでは続きまして、48 ページをご覧いただきたいと存じます。

項 20 社会教育費、目 25 公民館費でございますが、説明欄 1 の公民館整備事業につきましては、地上デジタル放送を受信するためのアンテナ等の整備を行うとともに、地上デジタル放送対応型のテレビを公民館に設置するもので、特定財源として国庫支出金及び市債を見込むものでございます。

以上をもちまして、7 月補正予算の説明とさせていただきます。

**◎溝口委員長** 説明が終わりました。これより質疑、ご質問等ありましたらお願いいたします。

46 ページ、47 ページにかけてですけれども、理科教育教具整備費、これは小学校と

中学校に同じ項が載っておりますけれども、具体的に何をどういうふうに整備するのか、ちょっと説明していただけたらありがたいのですけれども。

○須藤学務課長 この理科教育教具の整備費でございますけれども、国の緊急経済対策の関係で補正をさせていただくものでございます。基本的には1校100万円程度の理科教育教具、備品を、小中学校それぞれに整備をしていきたいということでございまして、主に観察とか実験、こういったものが新学習指導要領の中では重要視されてるということでございますので、今後、学校現場等と調整をしながら具体的に物品を決めていきたいと思っておりますけれども、想定されるものとしたしましては、小学校では人体の模型ですとか、骨と筋肉の動きの実験器具ですとか、電気を使った利用の関係では蓄電の実験セットですとか、月の満ち欠けの説明機だとか、そういったものを小学校では想定されるのかなということでございます。

一方、中学校も同じように、イオンの電気泳動実験セットですとか、衝突実験機、そういった実験関係の器具を重点的に整備していきたいというふうに考えてございまして、具体的には今後、学校教育課、学校現場と調整をしながら決めていきたいというふうに思っております。

◎溝口委員長 私も何回か、文部科学省のほうから直に説明を、全国の理事会のほうで受けているのですけれども、その中で顕微鏡のことがよく言われるのです。古くなっているのではないかということで。今の説明の中では顕微鏡という話がなかったのですが、顕微鏡についてはいかがなんでしょうか。

○須藤学務課長 顕微鏡につきましても、実態に即した中で検討していきたいと思っておりますけれども、実は相模原市の場合には、この緊急経済対策以外に、毎年、小学校10校、中学校10校につきまして、文部科学省、国からの補助金をいただきまして、1校40万円程度の備品を整備しております。各校ではそういった予算を活用して、理科備品については整備をしてきているという状況でございますので、今回はそれにプラスしての補正でございますので、そういった顕微鏡につきましても、学校現場で必要であるということであれば、その辺についても実態等踏まえた中で考慮していきたいというふうに思っております。

◎溝口委員長 ほかに質疑、ご意見等ございませんでしょうか。

◎小林委員 太陽光発電の設備について、質問いたします。

まず、市内の太陽光発電の設置状況はどんな状況なのかということと、どのくらいの発

電量で、学校の需要に対してどのくらい対応できるのかどうかということと、それによって、関連になりますが、経済効果はどのくらい出てくるのかと、その3点についてお伺いいたします。

○井上学校施設課長 市内の太陽光の発電設備の状況でございますが、平成13年度から14年度にかけて新築工事がございまして4校、学校名で申し上げますと、夢の丘小学校、富士見小学校、小山小学校、青野原小学校で設置されております。それと、その発電量につきましては20キロワットで設定していたわけですが、今回、既存の大規模の改修にあわせて設置する関係で構造上の耐力にあった形、スペース的なこともございますので、5キロワットで設定させていただいています。それにつきましては、消費電力的には全体の使用量の2パーセントくらいを賄っているというふうに考えてございます。全体で申し上げますと、CO2の削減の関係をちょっと調べてみました。その関係で申し上げますと、年間で1,600キログラムのCO2の削減が可能になるというような状況でございます。

◎溝口委員長 情報通信機器整備、これについてはこの間、電子パネルで漢字の書き順等について非常に有効であるというふうなお話がテレビに出ておりましたけれども、この情報通信機器整備は、具体的にどういうふうなものをどういうふうに整備するのか、説明していただけたらありがたいのですが。

○須藤学務課長 小中学校ともに情報通信機器整備費につきましては、基本的には今現在、地上デジタル放送の対応型のテレビを各普通教室等に整備するというところで考えておまして、それを使って、今後LANとの活用とあわせて、教育の幅が広がっていくのかなという気がします。

一方、電子黒板等も普及をしておまして、今回、これは国の補助の中で対応させていただくのですが、国は今後、こういった大型の地上デジタル放送対応型のテレビに、電子黒板機能を新たにつけ加える、テレビにつければできるような、そういったものも業者に開発をさせていきたいという意向を持っているようでございますので、今の電子黒板機能については、学習の中でどういう活用が図られるのか、どういう効果があるのか、そういったことも含めまして、今後、電子黒板の普及等が進めば、それにあわせて検討していかなければいけない課題だととらえておりますけれども、当面、地上デジタル放送対応型のテレビを導入しまして、動向を見きわめていきたいというふうに考えております。

◎溝口委員長 49ページの公民館の地上デジタル関連整備、これは具体的にどういうもの

なのでしょうか。

○和田生涯学習課長 公民館に地上デジタル放送対応型テレビを配置する部分でございますが、現在も公民館において、生涯学習関連の情報収集であるとか、利用者の学習効果、利便性の向上を図るために活用されていて、今後もこれを維持するとともに、地上デジタル放送対応型テレビの新たな生涯学習への活用等を含めて、整備をさせていただく部分でございます。今回、テレビを設置する部分では25館の公民館への配置を予定してございます。近年、改修工事等で地デジ対応のテレビを配置しております公民館が既にございますので、それ以外の公民館について配置を予定してございます。

◎溝口委員長 公民館には電子パネルの配置はないのでしょうか。

○柿澤生涯学習課長 電子黒板等の話でございますが、公民館につきましては電子黒板に対応する50インチのテレビの配置については、配置場所にもよりますが、一義的には公民館の事務室等への配置を予定してございまして、それについてはやはり32インチ程度のテレビを配置してございまして、それに基づいて活用していく予定でございまして、電子黒板については公民館では今のところ考えてございません。

◎溝口委員長 ほかに質疑、ご意見等ございませんでしょうか。

◎金川委員 これだけたくさんのお金をかけて、子どもたちの環境がすごくよくなるなど感じています。なので、できればやっぱり保護者の方たちにもぜひPRして、学校にはこんなすてきな設備がそろそろようになっているんだよ、ということが伝わるといいなというふうに思っています。

○佐藤学校教育課長 いわゆる学習指導要領に対応した教材が整備されること、新たなハイテクな機器が導入されてわかりやすい授業ができること、こういったことにつきましては、各学校が学校便り、そういったものにて保護者の方に伝えていただくようなことが進められるものととらえています。また、10月、11月には、各種の研究発表大会がございまして。そういった中で、当然授業を公開するわけですので、最新の機器を使った授業展開がなされると。そして、それが多くの市民の方にPRできると、そんなふうにとらえてございます。

◎溝口委員長 ほかに質疑、ご意見等ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 ありませんので、これより採決を行います。

議案第36号、平成21年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正について

を原案どおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎溝口委員長 ご異議ございませんので、議案第36号は可決されました。

---

◎溝口委員長 以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

次に、委員の皆さんから何かございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

---

◎溝口委員長 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもちまして、7月臨時会を閉会いたします。

---

□閉 会

午前10時18分 閉会